

笑顔晴れやか ～読書活動に貢献の3団体が受賞～



小池ヨシミさん(左)と会長の樺澤寿美子さん(右)

富士見おはなしの会
令和4年度前橋市教育文化功労者表彰
(令和4年11月4日)

富士見地区を拠点に、児童館や小中学校、いきいきサロンなどにおいて、幼児から高齢者まで幅広い世代に向けた読み聞かせを精力的に行っています。小淵志ち、羽鳥重郎、羽鳥又男、船津次平など地域の偉人の一代記を紹介すると、子ども達の瞳がひととき輝きます。お話会に来てくれる皆さんの笑顔が会員の元気の源です。



「読み聞かせグループ連絡協議会」の皆さん

**前橋市読み聞かせグループ
連絡協議会**

前橋市制施行130周年記念市政功労者表彰
(令和4年11月6日)

市内で読書活動を推進している22の団体で構成されています。小学校での朝読書や公民館での読み聞かせをはじめとする様々な地域活動に加え、子ども図書館での活動を通して、子ども達が楽しみながら気軽に本に親しめるよう創意工夫を凝らすとともに、定期的に研修を行い読み聞かせの技術を磨いています。



「萌えぎの会」の皆さん

萌えぎの会
第52回野間読書推進賞
(令和4年11月7日)

1974年の発足以来、「子どもが喜んでくれることが本好きにつながる」との信念のもと、子ども達の想像力と好奇心を高めるおはなし会を継続するとともに、子ども図書館内で歳時記飾りによる季節行事の継承に務めてきたことが評価され、全国から寄せられた推薦の中で見事賞に輝きました。活動の場は図書館にとどまらず、特別支援学校や児童養護施設、高齢者施設など多岐にわたっています。

永年にわたり読書活動の推進に尽力された3つの読み聞かせ団体が表彰を受けました。おめでとうございます。

■司書のおすすめ■
各分館スタッフがおすすめの1冊を紹介

『**単純な脳、複雑な「私」**』池谷裕二 著/
講談社 東分館スタッフ

自分の直感や下した決定が、あなた自身の心ではなく、脳が勝手に決めたことだと言われたら、信じられますか?そんな、脳の不思議と「自分自身」の関係について記されているのがこの1冊です。

本書は、脳科学研究の第一人者・池谷裕二先生が、母校の高校生へ向けて行った連続講義を書籍化したものです。生徒とのやり取りがそのまま記録されており、とても分かりやすい内容です。たくさんの思考実験や図も紹介され、日々自分が感じている「なんとなく」や「勘」の裏には、脳の壮大かつ単純な働きが隠されていることに、非常に驚かされるとともに、わくわくしてきます。

例えば…つまらない単純作業に対して、1,000円の報酬をもらえるグループと、100円しかもらえないグループに分けた時、どちらのグループが「おもしろい作業だった」と答えるか?正解は、ぜひ本書でご確認ください。読み終わるころには、“自分って一体なんなんだろう?”と思う事請け合いです。

図書館の休館日	
(祝日の場合は開館、翌日休館)	
前橋市立図書館本館・上川淵・下川淵・桂萱・総社・元総社・南橋・大胡・富士見・総合教育プラザ分館	月曜日
芳賀・東・清里・永明・城南・宮城・粕川分館	木曜日

年末年始 休館日のお知らせ
12月29日(木)～令和5年1月4日(水)

前橋子ども図書館
☎ 027-230-8833
休館日=12月5日(月)
12月28日(水)～令和5年1月4日(水)

詳しくは当館ホームページをご覧ください。

- たこさんとkukuさんのワークショップ&おはなし会**
日時=12月4日(日)午前10時～12時
場所=前橋プラザ21 1階にぎわいホール
- 冬の子どもフェスティバルおはなし会**
日時=12月10日(土)午前11時～12時
- ことばを育む1歳からのおはなし会**
日時=12月13日(火)午後1時30分～2時
- 赤ちゃん絵本のおはなし会**
日時=12月16日(金)午後1時30分～2時30分
対象=1歳児までとその保護者
- おはなしの会**
日時=12月17日(土)・24日(土)午前11時～11時30分
- IKUEI からサンタがやってきた～クリスマスおはなし会～**
日時=12月18日(日)
①午前11時～11時30分、②午後1時30分～2時
- はじめて絵本のおはなし会**
日時=12月25日(日)午前11時～12時
対象=1歳児までとその保護者
- たこさんのおはなしや**
日時=木曜日、午前11時～11時30分
- ブックスタート絵本の引き換え&おはなし会**
日時=土曜日、午後1時～3時
対象=ブックスタート絵本引き換え対象の赤ちゃんとその保護者

ICタグ貼付作業が本館、子ども図書館、各分館で順次行われています。資料の移動等がございます。ご迷惑をおかけしますが、ご理解の程、よろしく願っています。

編集よもやま話

みなさんが、クリスマスを意識した出来事は何ですか。幼稚園や保育園、子ども会などでの催しとしてのクリスマス会でしょうか。店先のディスプレイや広場に設けられたツリーでしょうか。思い出のクリスマスソングがある方も多でしょう。私はルイザ・メイ・オルコット作『若草物語』です。アメリカでのクリスマスのごちそうに想像を膨らませました。自分でお菓子を作るようになると、各国のクリスマスケーキを料理本で知りました。今年は、家族構成が変わり、家族で過ごす予定がなくなった我が家ですが、クリスマスを題材にした本で、気分を味わいたいと思います。(な)



前橋BOOKFESが行われました。

10月30日(日)に、前橋BOOKFESエグゼクティブプロデューサーである、前橋市出身のコピーライター・エッセイストの系井重里さんが、一日図書館長に就任されました。当日はこども図書館において巨大絵本の読み聞かせ等、様々なイベントが催されました。中心市街地でこの様なイベントを行うことは今回が初めての試みでしたが、多くの市民が街中へ集い、本との出会いを楽しまれました。



吉川教育長と、一日図書館長の系井重里さん



カウンターで貸出を行う系井一日図書館長



童心に盛り返り上がりました



市立前橋高校の生徒さんがボランティア協力

市立前橋高校演劇部

11月3日(木)に市立前橋高校演劇部の皆さんによる演劇『屋上のお話』が本館にて上演されました。

校舎の屋上で自殺をしようとしている一人の女子高生。彼女を救おうと次々に現れる生徒たち…。屋上で繰り広げられる命の物語です。演劇部の部員達による自然な演技に、観客の皆さんも引き込まれ、上演後には惜しめない拍手が送られていました。



ブックリサイクル

11月1日(火)から4日(金)にかけて、図書館本館の地下講堂にてブックリサイクルが行われました。ご応募いただいた皆様は、早速お目当ての分野の机に置かれた書籍を手に取り、じっくりと選ばれていました。図書館での役目を終えた本ですが、こうして新しい読者の元へと渡っていくのは、図書館としてもうれしい限りです。ご来場いただき、ありがとうございました。



イベントのお知らせ

「市立前橋高校理科研究サークル
研究発表展～理科はやっぱり面白い!～」
展示期間：11月29日(火)～12月25日(日)
展示場所：本館2階展示コーナー

「ワークショップ“クリスマスグッズをつくろう!”」
日時：12月10日(土)午後1時～3時 無料
場所：本館地下講堂
※時間内、いつでも自由に参加できます。



前橋市市制施行130周年記念 DVD上映会のお知らせ
日程：12月23日(金)
申込：12月6日(火)午前9時から受付
電話：224-4311 または事務室まで
上映作品は下の表の2作品です。

時間・定員	上映作品
午前10時30分～ 午前11時40分 先着 親子10組	『映画すみっこぐらし とびだす絵本とひみつのコ』 (内容) ふしぎな絵本の世界に迷い込んだ“すみっこ”たちは、ひとりぼっちのひよこと出会って… (ナレーション) 井ノ原快彦、本上まなみ (製作年) 2019年
午後1時30分～ 午後3時 先着20人	『邂逅 めぐりあい』(モノクロ) (内容) 豪華客船に乗り合わせたパリのプレイボーイとアメリカの女性歌手。 二人は恋におち、再会を約束するが… (監督) レオ・マツケリー (出演) アイリーン・ダン、シャルル・ボワイエ (製作年) 1939年 (音声・字幕) 英語・日本語字幕

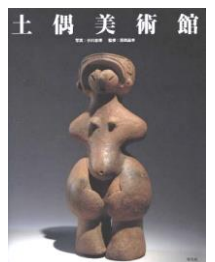
『World Cupの記憶 少年とテレビとサッカーと』
福田泰久著 春陽堂書店

ドーハの悲劇の中山の慟哭、ラモスが神様と呟いた瞬間、ジダンの頭突き…。テレビマンがみた選手も知らない夢舞台の真実とは。ワールドカップの持つ魅力の断片を、テレビ放送の裏側にあった光と影のエピソードを交えて伝える。



『土偶美術館』
小川忠博写真 原田昌幸監修 平凡社

縄文写真家・小川忠博による土偶写真集。定番の「縄文のヴィーナス」から、土器土偶、動物の土偶まで、300点の写真で土偶の豊かなバリエーションを紹介する。「縄文美術館」の続編。



『仕事は職場が9割』
沢渡あまね著 扶桑社

「能力がないから生産性が低いんだ」と落ち込む必要はない。仕事は人間関係、環境、働き方など「職場」次第。自分のキャリアや生産性を最大化させるために、能動的に職場を選択する・変える働き方の重要性を説く。



新刊案内